

2021年1月28日

**オリンパス、医療用蛍光イメージングシステムの先進企業
オランダ Quest Photonic Devices 社の買収契約を締結
～戦略的買収による外科内視鏡事業の拡大へ～**

オリンパス株式会社（取締役 代表執行役 社長兼 CEO：竹内康雄、以下オリンパス）は、医療用蛍光イメージングシステムの先進企業である Quest Photonic Devices 社（クエスト・フォトニック・デバイスズ、本社：オランダ ミッデンウメール、CEO：Richard Meester、以下クエスト社）の株式 100%を取得する契約を締結しました。買収金額は約 50 百万ユーロを予定しています（条件付対価等含む）。オリンパスは、今回の買収を通じて自社の持つ内視鏡イメージング技術をより強固なものとするこで、より正確で安全な外科手術の実現に貢献してまいります。

蛍光イメージングは、特殊光観察技術の 1 つであり、特定の蛍光色素が生体構造に集積するという性質を利用した観察方法です。観察用途・目的に応じた色素を特定の励起波長と組み合わせることで、通常の白色光の下では観察の難しい組織や病変を可視化する技術であり、外科手術におけるイメージング技術への適用拡大が期待されています。オリンパスが既に導入している外科手術用内視鏡システム「VISERA ELITE II」も、近赤外光を利用した蛍光イメージングに対応しており、手術中における血管の確認や血流の評価をサポートしています。

クエスト社は、先進的な医療用蛍光イメージングシステムの開発、製造、販売を行っている企業で、外科領域のイメージング技術の革新に貢献しています。さまざまな光の波長を活用したイメージング技術の開発に強みを持っており、開腹手術や腹腔鏡手術における蛍光ガイド手術用のイメージングシステム「Spectrum®」をはじめ、光線力学療法向け機器など幅広い医療用イメージング機器を提供しています。当社はこれまで外科内視鏡イメージングの分野において 4K、3D などの技術を導入してきましたが、本買収により、蛍光イメージング技術および製品ラインアップを強化することで、これまで外科医にとって観察が難しかった病変や組織の可視化に向けてさらなる貢献をしていきます。

蛍光ガイド手術向け医療用イメージング機器の世界市場規模は、2018 年の約 3 億 1,000 万米ドルから 2027 年には 8 億 2,700 万米ドル以上と、年率 12%以上の成長が見込まれています。^{※1} また、再建手術および低侵襲手術への需要の高まりが、蛍光ガイド手術市場の成長を牽引しています。さらに、がんと特異的に結合する抗体を組み合わせた蛍光薬剤を用いる分子イメージングという技術の新たな研究が進んでおり、蛍光イメージング技術の適用がさらに拡大することが見込まれています。この分子イメージングが実用化されれば、がんの再発率低減を目指し外科医ががん病変の摘出手術を行う際に、がん病変を可視化できるという技術的貢献が期待されています。

※1 Transparency Market Research; Near-Infrared Fluorescence Imaging System Market Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends and Forecast, 2019–2027.

クエスト社は、既に承認されている蛍光イメージング用薬剤に対応する観察技術に加え、同社の蛍光イメージング技術を利用して次世代分子イメージング用薬剤の開発に着手するさまざまなバイオテクノロジー企業と共同研究・共同開発を進めており、蛍光ガイド下のがん手術における新たな技術の可能性を追求しています。

オリンパスの外科内視鏡イメージングのグローバルヘッドである松本勘一は、「クエスト社の先進的な蛍光イメージングシステムを当社の内視鏡イメージング製品のポートフォリオに組み入れられることを嬉しく思っています。当社の外科手術用内視鏡システム「VISERA ELITE II」と、クエスト社の主力製品である「Spectrum®」の蛍光ガイド手術向け技術を組み合わせることで、開腹手術・腹腔鏡手術の両方をカバーできる高品質な蛍光イメージングソリューションの提供が可能になると考えています。」と語っています。

< Quest Photonic Devices 社概要 >

- 会社名：Quest Photonic Devices B.V.
- 本社所在：オランダ 北ホラント州 ミッデンウメール
- 設立年月日：2008年8月21日
- CEO：Richard Meester
- 資本金：474百万円※2（2019年12月末時点）
- 売上：396百万円※2（2019年12月期）
- 営業利益：120百万円※2（2019年12月期）
- 事業内容：医療機器の開発・製造・販売
- 従業員数：35人

※2 1ユーロ=126.95円（2020年12月末の為替レート）で換算

< 本件に関するお問い合わせ先 >

- 報道関係の方：オリンパス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ 報道担当 足立
携帯：080-2175-5297
- ホームページ：<https://www.olympus.co.jp/>

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

オリンパスの医療分野について

オリンパスの医療分野は、リーディング・メドテックカンパニーとして、革新的な技術と製造技術で医療従事者のみなさまとともに歩んでまいりました。診断そして低侵襲治療において、より良い臨床結果を生み、医療経済にベネフィットをもたらす、世界の人々の健康やQOL向上に貢献してまいります。

医療分野の製品ポートフォリオは、軟性内視鏡、硬性鏡、ビデオイメージングシステムから、外科用デバイス、システムインテグレーション、修理サービス、そして診断・治療用処置具のラインアップに至るまで、幅広い製品・サービスを提供しています。詳しくは www.olympus.co.jp/をご覧ください。